

カーボン・オフセットイベント事例集
(Ver.1.0)

2009年11月

カーボン・オフセット推進ネットワーク (CO-Net)

目次

1.	エスパルス・エコチャレンジ 株式会社エスパルス	3
2.	「green image in karuizawa」LIVE イベント Green image 実行委員	4
3.	グリーン EXPO グリーン EXPO 実行委員会	5
4.	試合時間マイナス 6% 日本野球機構	6
5.	年賀寄附金誕生 60 周年記念シンポジウム 郵便事業株式会社	7
6.	俣野公園完成記念式典 横浜市	8
7.	Ryuichi Sakamoto Playing The Piano 2009 主催企業各社	9

※五十音順

イベント情報	主催者	株式会社エスパルス
	名称	エスパルス・エコチャレンジ
	開催期間	2008年～2012年
	開催地	アウトソーシングスタジアム日本平
	内容	アウスタでのホームゲーム（年間20試合程度）をオフセット
	参加人数	2008年度22試合で33万人
	目的	次世代にサッカーを快適に楽しめる環境を残すため
オフセット量の算定	対象範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・スタジアムの電力使用量 ・スタジアムでのごみ処理の際の排出量、 ・シャトルバス走行距離と燃費、自家用車排出量
	算定方法	J-COF「GHG 排出量算定ガイドライン」を参考。 毎試合固有値を測定、自家用車の排出量については、Jリーグデータおよび国土交通省データより算出した。
	算定結果	実施前：1800トンCO ₂ （5年分） 実施後：2008年度は360トンCO ₂
オフセット量	オフセット量	2008年度は360トンCO ₂
	費用負担者	株式会社エスパルス
クレジットと無効化	クレジットの種類	京都クレジット（CER）
	削減・吸収プロジェクト名	アラブセルインディアナヴァイ小水力（ブラジル）
	識別番号	BR-000-000-013-003-827～BR-000-000-013-004-186
	無効化の方法	償却
	無効化の時期	済（2009年4月）
	情報公開	—
CO ₂ 削減と環境配慮	取組内容	ごみの分別や持ち帰りを推奨、紙コップ回収機を15台導入しリサイクル推進。シャトルバス利用を呼びかけた。
コミュニケーション情報提供		<ul style="list-style-type: none"> ・スタジアムにて毎試合ビジョンやアナウンスにて啓蒙エコチャレンジの紹介 ・エスパルス・エコブックをサポーター等へ配布 ・ウェブページ（エコチャレンジ専用コーナー）にて紹介 ・イベント（サッカー教室等）にて市民や児童に呼びかけ
その他特記事項 （効果・課題・参考情報など）		≪副次的効果≫ 排出権購入を知ったブラジルのセラン社からジュニアユースチームを招待したいとの申し出があり、エコ遠征が実現した。 ≪課題≫ カーボンオフセットに関する理解向上と排出削減活動への参加促進。サポーター参加型のお手軽オフセット企画の実施と信頼性確保のバランス。

作成：鈴与ホールディングス株式会社

イベント情報	主催者	Green image 実行委員会
	名称	「green image in karuizawa」LIVE イベント
	開催期間	2009年8月10日～12日
	開催地	長野県軽井沢 大賀ホール
	内容	音楽イベント
	目的	地球温暖化を防ぐため CO2 削減を目的とした各取り組みを行いその一環としてカーボン・オフセットを実施。
	参加人数	—
オフセット量の算定	対象範囲	イベントで利用する会場のイベント期間中の消費電力
	算定方法	イベント期間中の会場の予想消費電力量×中部電力排出係数
	算定結果	実施前： 実施後：3.0t-CO2
オフセット量	オフセット量	3.0t-CO2
	費用負担者	株式会社フロンテッジ
クレジットと無効化	クレジットの種類	J-VER
	削減・吸収プロジェクト名	高知県木質資源エネルギー活用事業 B
	識別番号	JP-100-20000-00001-00
	無効化の方法	環境省無効化口座
	無効化の時期	済（2009年8月3日）
	情報公開	—
CO2削減と環境配慮	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの告知物には、環境に配慮した FSC 認証用紙と大豆インクを使用した（一部を除く） ・主催者としてコンサートを開催する大賀ホールのカーボン・オフセットの取り組み。出演者・関係者へ電車での移動の呼びかけ。 他
コミュニケーション情報提供		<ul style="list-style-type: none"> ・コンサート告知ポスター、パネル展示、チラシ、ホームページで取り組みをアナウンス。 ・会場配布用のパンフレットに本イベントの環境取り組みを記載。 他
その他特記事項 （効果・課題・参考情報など）		≪成果≫ カーボン・オフセット第三者認証ラベルを導入した国内コンサート第1号となり、さまざまなノウハウを提供することができた

作成：株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ

イベント情報	主催者	グリーン EXPO 実行委員会
	名称	グリーン EXPO
	開催期間	2009 年 7 月 4 日・5 日
	開催地	神奈川県横浜市（パシフィコ横浜）
	内容	衣食住に関係する環境配慮型商材やサービスを一般消費者に PR するイベント
	目的	一般消費者のグリーンな意識や消費とビジネス商材を繋げ、環境に配慮したマーケットの在り方を示す。
	参加人数	来場者：26,500 人、出展者：200 社
オフセット量の算定	対象範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・開催期間中の会場消費エネルギー消費と CO2 排出 ・来場者の移動活動に伴う CO2 排出 ・スタッフの移動活動に伴う CO2 排出 ・出展者の機材・物品の運搬活動に伴う CO2 排出
	算定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・対象活動の個々の活動量を想定し予定排出量算定。 ・開催時アンケート実績と、活動・消費量の実績データをもとにイベント開催後に再度排出量を算定。 ≪適用排出係数≫ <ul style="list-style-type: none"> ・H19 電気事業者別二酸化炭素排出係数（東京電力） ・国土交通省／運輸部門／輸送量当たり排出係数（各種） ・JCCCA 環境家計簿（廃棄物）・CO2 駅すばあと
	算定結果	実施前：79.0ton-CO2 実施後：109.5ton-CO2
オフセット量	オフセット量	109.5ton-CO2
	費用負担者	グリーン EXPO 実行委員会
クレジットと無効化	クレジットの種類	京都クレジット CER 他（COA 他社分は割愛）
	削減・吸収プロジェクト名	インド風力発電他 4.2 MW Wind power project in Maharashtra, by Bharat Forge Limited (India)他（COA 他社分は割愛）
	識別番号	JP-00000-00000-01297 他（COA 他社分は割愛） IN-000-000-054-013-573～IN-000-000-054-013-579 （COA 他社分、事後追加分は割愛）
	無効化の方法	出展者でもあるカーボンオフセット協会（COA）所属のカーボンオフセットプロバイダー11 社からクレジットの提供を受け各社によるクレジット無効化（取消）の手続きを実施。
	無効化の時期	済（2009 年 7 月）
	情報公開	実施報告書は 2009 年 9 月公開予定 グリーン EXPO 公式サイト http://greenexpo.jp/
CO2 削減と環境配慮	取組内容	グリーン EXPO そのものの趣旨・目的として、食／住まい／ファッション／コスメなど、健康や環境、ライフスタイルにおける環境配慮やグリーン意識を幅広く来場者（一般消費者）へ伝えた。
コミュニケーション情報提供		ホームページ、ポスター、入場チケット カーボンオフセットコーナーへのパネル展示、各プロバイダーのカーボンオフセット証明書 等
その他特記事項 （効果・課題・参考情報など）		≪成果≫CO2、排出権、オフセットについて一定の啓蒙・普及効果があった。また幅広い活動を対象とした CO2 排出の算定に取り組むことで、カーボンオフセットイベント開催に向けた企画・実施ノウハウを得ることができた。 参考：グリーン EXPO 公式サイト http://greenexpo.jp/

作成：ジーコンシャス株式会社

イベント情報	主催者	日本野球機構
	名称	試合時間マイナス 6%
	開催期間	2008 年公式戦 864 試合
	開催地	プロ野球公式戦試合会場
	内容	プロ野球公式戦
	目的	試合時間を短縮することによって、ファンへのサービスの向上及び、地球環境問題への行動を呼びかける。
	参加人数	セ・パ両リーグ全選手
オフセット量の算定	対象範囲	2008 年公式戦 864 試合ごとの球場の電力
	算定方法	1 試合毎の球場の電力。各球団へのアンケートに基づき 1 分あたりの電力使用量を推計し試合時間の短縮時間に応じて算出。 ※排出係数は温暖化対策法の係数を使用。
	算定結果	実施前：— 実施後：—
オフセット量	オフセット量	122 トン
	費用負担者	日本野球機構
クレジットと無効化	クレジットの種類	京都クレジット
	削減・吸収プロジェクト名	インドの風力発電によるクレジット
	識別番号	JP-00000-00000-00757 (IN-000-000-031-948-159~IN-000-000-031-948-361) ※他の案件に伴うクレジットの移転も含まれる。
	無効化の方法	日本国政府償却口座へ移転
	無効化の時期	済
	情報公開	—
CO2削減と環境配慮	取組内容	過去 10 年の公式戦平均時間 3 時間 18 分から 3 時間 6 分の目標をたて、5 分の短縮を達成。 12 球団それぞれの環境活動宣言を行い公表。
コミュニケーション情報提供		Web ページによる情報発信。グリーンリストバンド着用による来場者への啓発及び、グリーンリストバンド（グリーン電力付き）の販売。各選手ロッカールーム、食堂などに「Speed Up 11 か条」ポスターの掲出。
その他特記事項 (効果・課題・参考情報など)		<p>《課題》カーボンオフセットありきではなく、まず目標をたてて削減努力をゲーム感覚で行うということが、一般生活者、プレーヤーの理解を得ることができ、行動に繋がると思う。</p> <p>《参考情報》http://www.npb.or.jp/gbp/2008report_1.html</p>

作成：株式会社博報堂 DY メディアパートナーズ

イベント情報	主催者	郵便事業株式会社
	名称	年賀寄附金誕生 60 周年記念シンポジウム
	開催期間	2009 年 7 月 26 日
	開催地	東京都台東区上野
	内容	年賀寄附金誕生 60 周年を記念し、助成先の東京都交響楽団の協力を得てシンポジウム、コンサート、懇親会を開催し、カーボンオフセットイベントとする
	目的	カーボン・オフセット助成事業を行う立場上、自らが主催するイベントをカーボン・オフセット・イベントとするため
	参加人数	約 1,700 名
オフセット量の算定	対象範囲	イベント全体を対象とする。コンサートの会場の電力、聴衆の交通による排出を主たる対象とし、その他のイベント関連排出全てを対象とする。
	算定方法	事前に推定を行い概算、事後実際のデータにより算定
	算定結果	実施前：1,944kg-CO2 実施後：1,749kg-CO2
オフセット量	オフセット量	2t-CO2
	費用負担者	郵便事業株式会社
クレジットと無効化	クレジットの種類	オフセット・クレジット J-VER
	削減・吸収プロジェクト名	高知県木質エネルギー活用プロジェクト
	識別番号	JP-200-000-000-000-969~970
	無効化の方法	J-VER 登録口座の無効化口座への移転 申請：9 月 3 日完了
	無効化の時期	済
	情報公開	WEB サイト http://blog.post.japanpost.jp/csr/2009/07/post-28.html
CO2削減と環境配慮	取組内容	イベント準備期間中の電力削減、公共交通機関利用、書類の削減等
コミュニケーション情報提供	手法	シンポジウム参加者への事前告知、コンサート聴衆への当日の司会者による紹介・会場アナウンス、WEB サイトにおけるイベント・オフセットの事例紹介等
その他特記事項 (効果・課題・参考情報など)		≪効果≫ ・聴衆を含む当日参加者約 1,700 名への PR・周知 ・第一号オフセット・クレジット J-VER によるイベント・オフセット ≪課題≫ ・さらなる普及と関係者とのコミュニケーション手法の確立

作成：郵便事業株式会社

イベント情報	主催者	横浜市
	名称	俣野公園完成記念式典
	開催期間	2008年4月6日(日)
	開催地	俣野公園(横浜市戸塚区俣野町)
	内容	俣野公園(横浜ドリームランド跡地)の全面オープンを記念して記念式典・記念試合を開催。
	目的	自家用車の利用に伴う温室効果ガス排出量の「見える化」とカーボン・オフセットの普及啓発
	参加人数	約5,000人
オフセット量の算定	対象範囲	来場者(自家用車)の移動に伴う温室効果ガス排出量
	算定方法	来場者(自家用車を利用)の移動に伴う温室効果ガス排出量を、活動量に排出係数を乗じて算定。排出係数として、国土交通省「自動車燃費一覧について」のデータを使用。
	算定結果	実施前:1.797 t-CO ₂ (グリーン電力 5,302 kWh 相当) 実施後:1.857 t-CO ₂ (グリーン電力 5,479 kWh 相当)
オフセット量	オフセット量	2.373 t-CO ₂ 相当(グリーン電力 7,000 kWh)
	費用負担者	駐車場利用者(100円または500円のワンコイン募金)
クレジットと無効化	クレジットの種類	グリーン電力証書
	削減・吸収プロジェクト名	日本国内における風力発電、バイオマス発電
	識別番号	07W005-0710-0712-00031001A01~00032000A01、 03D002-0707-0709-05082001A01~05085000A01、 03D002-0710-0712-02900001A01~02903000A01
	無効化の方法	—
	無効化の時期	—
	情報公開	ウェブページへの掲載 http://www.city.yokohama.jp/me/kankyuu/ondan/offset/data/20080406-matano.pdf
CO ₂ 削減と環境配慮	取組内容	事前のチラシとポスターで、来場者に対して、公共交通機関(電車、路線バス)の利用を呼びかけた。近隣の方には徒歩や自転車の利用を呼びかけた。
コミュニケーション情報提供	手法	事前:記者発表による報道・市民への情報発信 当日:駐車場利用者への募金の呼びかけ、式典でのグリーン電力証書の披露、パネル展示 事後:ウェブページによる取組結果の情報発信
その他特記事項 (効果・課題・参考情報など)		《効果》募金のお願いを通して、駐車場利用者によりカーボン・オフセットの取組への理解と協力を得られた。

作成:横浜市

イベント情報	主催者	主催企業各社
	名称	Ryuichi Sakamoto Playing The Piano 2009
	開催期間	2009年3月18日～4月29日
	開催地	日本全国、各開催地
	内容	音楽家、坂本龍一のピアノ・ソロ・ツアー
	目的	エンターテインメント
	参加人数	約 35,000 人
オフセット量の算定	対象範囲	《参加者》 アーティスト、会場設営スタッフ、観客及び楽屋花辞退者 《活動範囲》 参加アーティストの移動、会場用機材・設営スタッフの移動。 また、観客・楽屋花辞退者の自己活動の一部
	算定方法	事前に見込みや仮定の数値を使用して概算、事後にモニタリング結果を用いて算定・集計した。
	算定結果	実施前：62,479kg-CO2 (楽屋花辞退者については、事前算定対象外) 実施後：207,796kg-CO2
オフセット量	オフセット量	207,796kg-CO2
	費用負担者	イベント企画・制作会社、観客、各楽屋花辞退者
クレジットと無効化	クレジットの種類	高知県 CO2 吸収証書、VER
	削減・吸収プロジェクト名	more trees 第1号の森及び第4号の森
	識別番号	-
	無効化の方法	more trees のクレジット管理システム上にて無効化
	無効化の時期	済（高知県 CO2 吸収証書）、未（VER）
	情報公開	ウェブページ、ツアーパンフレット、会場内の展示パネル
CO2削減と環境配慮	取組内容	・ツアーの運営にあたっての3Rの徹底 ・グリーン電力の活用の徹底
コミュニケーション情報提供	手法	ウェブページ、ツアーパンフレット及び会場内でのパネル展示により、実施した環境配慮の取組や、カーボン・オフセットについて、算定量とオフセット実績などを伝えるとともに、GHG削減の呼びかけを行った。
その他特記事項 (効果・課題・参考情報など)		効果として表れたのは以下の3点 ・関連企業、観客の評価と共感を獲得。 ・関連企業、観客等のオフセットへの意識付に成功 ・各種媒体への波及効果。

作成：一般社団法人モア・トゥリーズ

カーボン・オフセット推進ネットワーク（CO-Net）は、カーボン・オフセットの取組を始め、温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクト等を推進する民間企業や地方自治体からなるネットワークです。※50音順（11月9日現在）

1. 代表理事
 - 全日本空輸株式会社
 - 五嶋 八洲雄
 - 上席執行役員 CSR 担当室長
2. 理事会
 - 旭化成株式会社
 - イオンリテール株式会社
 - オリックス株式会社
 - 鹿島建設株式会社
 - 鈴与ホールディングス株式会社
 - 全日本空輸株式会社
 - ソニー株式会社
 - 株式会社損害保険ジャパン
 - 株式会社電通
 - 東京電力株式会社
 - DOWAホールディングス株式会社
 - 丸紅株式会社
 - 三菱UFJ信託銀行株式会社
 - 郵便事業株式会社
3. 監事会社
 - 株式会社トーマツ審査評価機構
 - 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
4. 一般会員会社
 - 株式会社アクトス
 - 株式会社EJビジネス・パートナーズ
 - 株式会社エコノス
 - 関西電力株式会社
 - カーボンフリーコンサルティング株式会社
 - 株式会社川島織物セルコン
 - 株式会社JACO CDM
 - ジーコンシャス株式会社
 - 住商インテリアインターナショナル株式会社
 - 住友林業株式会社
 - 積水化学工業株式会社
 - 株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ
 - 大成建設株式会社
5. テンプスタッフ・テクノロジー株式会社
- 東京海上不動産投資顧問株式会社
- 凸版印刷株式会社
- 日東紡績株式会社
- 日本エヌ・ユー・エス株式会社
- 社団法人日本能率協会
- 財団法人日本品質保証機構
- 株式会社博報堂
- 日立キャピタル株式会社
- ビューローベリタス ジャパン株式会社
- 福島ミドリ安全株式会社
- 富士フィルム株式会社
- 株式会社みずほ銀行
- 株式会社三井住友銀行
- 三田農林株式会社
- 三井物産株式会社
- 三菱商事株式会社
- 三菱UFJリース株式会社
- みなと環境にやさしい事業者会議
- 株式会社明電舎
- 有限責任中間法人モア・トゥリーズ
- 諸戸林業株式会社
- 株式会社ライジングコーポレーション
- 株式会社リサイクルワン
- 株式会社ローソン
- 地方自治体会員
- 青森県
- 高知県
- 静岡市
- 鳥取県
- 新潟県
- 福井県
- 港区（東京都）
- 横浜市（神奈川県）
- 宮崎県諸塚村
- 森林バイオマス吸収量活用推進協議会（足寄町・下川町・滝上町・美幌町）

カーボン・オフセット推進ネットワーク（CO-Net）

<http://www.carbonoffset-network.jp/>

所在地及び連絡先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-8 芝公園アネックス 7 階

Tel 03-5776-1223 Fax 03-5472-0145

Email info@carbonoffset-network.jp